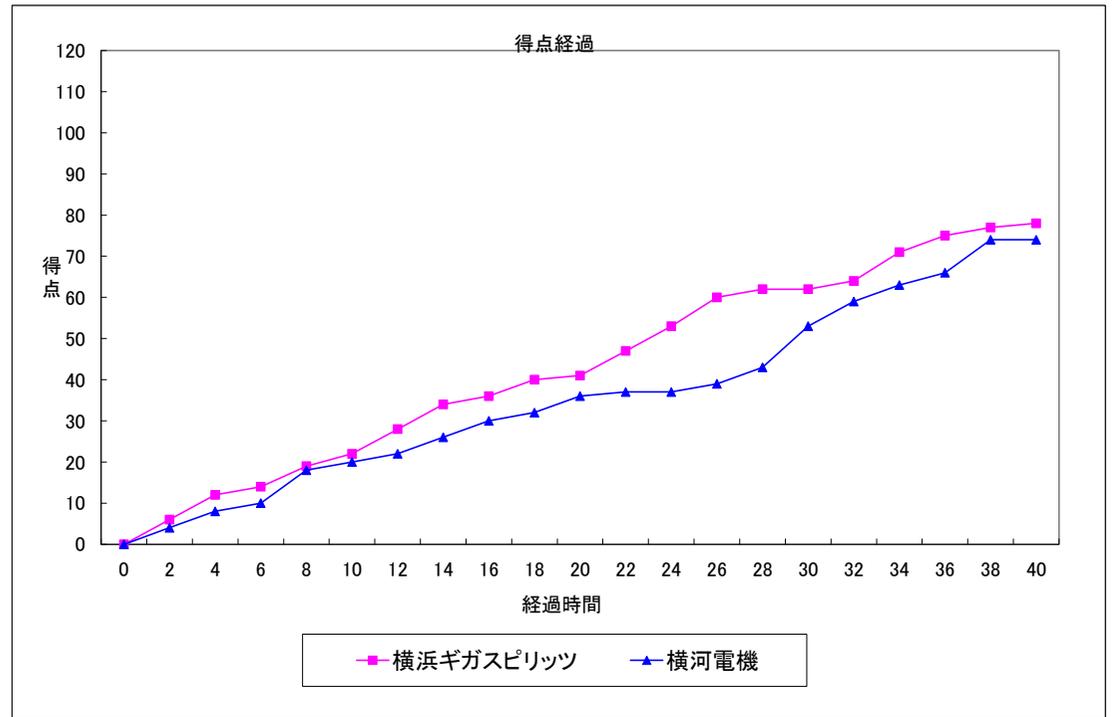


# 第7回 全日本社会人バスケットボール選手権大会

## 競技結果

ク5・神奈川		実5・関東					期日	2011年11月6日					
横浜ギガスピリッツ 74		78 横河電機					試合	M15	コート	B4			
							会場	富山県西部体育センター					
							主審	小菅 学					
							副審	青木 俊博					
連盟	13	14	ク5・神奈川			連盟	33	34	実5・関東				
チーム名	横浜ギガスピリッツ					チーム名	横河電機						
部長	小山泰介					部長	伊東千明						
顧問						顧問	田中博行						
監督	小山泰介					監督	奥山興祐						
H・コーチ						H・コーチ							
コーチ						コーチ	小納真良						
A・コーチ						A・コーチ							
主務・副主務						主務・副主務	溝田浩志	麻生雅之					
マネジャー	石川景子					マネジャー							
トレーナー						トレーナー	高田裕史						
選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF	選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF
齊藤 卓	0	2	0	1	0	1	田ヶ谷 治	0	2	0	0	2	2
益山遼太郎	1						伊藤 真人	1	3	0	1	1	1
小泉雄平	2						小納真樹	3	0	0	0	0	0
安宅寛法	3						溝田浩志	4					
大堀 俊	5	16	0	8	0	2	梅田稔人	7	2	0	1	0	1
水野健一	6	9	1	2	2	0	神崎 健	8					
三浦佑太	7	2	0	1	0	2	佐藤 岳	9					
岩本康史	9						小林一哉	13	8	1	2	1	1
滝沢 理	10						高木賢伸	15	4	0	2	0	0
石田陽輔	11						張 威威	20	0	0	0	0	0
長田茂雄	14	9	1	3	0	0	山田純也	21	11	0	4	3	0
西山達哉	18	6	1	1	1	0	浦中 旭	22	6	2	0	0	0
村田智史	20	3	0	1	1	3	梶原 剛	24	7	1	2	0	1
西谷亮一	21	2	0	1	0	1	能登裕介	28	5	0	2	1	1
西 祐 輔	22	20	0	7	6	3	笹 義 仁	33	4	0	1	2	0
五十嵐真悟	24	5	0	2	1	3	小西秀明	52	14	0	6	2	3
鈴木健史	77						飯島章仁	77	12	0	6	0	3
安野一平	99												
合計		74	3	27	11	15	合計		78	4	27	12	13

記録:富山県バスケットボール協会



### 戦評

両チーム共マンツーマンディフェンスにてスタート。横浜ギガはアウトサイドを中心に横河は#0、#33のインサイドを中心に加点。中盤は両チーム共アウトサイドシュートを中心に点数を重ねていく。両チーム共決め手の無いまま22-20横河リードで第1Q終了。

第2Qは横浜ギガのアウトサイドシュートが決まらず逆に横河の速攻が決まり点差を広げていく。中盤は横浜ギガ#5のシュートで食下がるが、横河#21のカットインシュート、アウトサイドシュートが決まり相手に流れを行かせない。41-36横河リードで第2Q終了。

第3Q序盤は横浜ギガはパスミスから連続して相手に点数を与え、横河#52のインサイドシュートが決まり点差を広げられてしまう。たまたま横浜ギガはT・O。T・O後は少し落ち着いたのか横浜ギガのアウトサイドシュート、3点シュートが決まり点差を縮める。しかし、序盤のミスによる点差が響き62-53横河リードで終了。

第4Q序盤は横浜ギガ#5の連続シュート、#14のシュートで点差を縮める。しかし、横河#13の3点シュート等により相手に流れを行かせない。中盤横浜ギガはゾーンディフェンスに切替えた。疲れの見え始めた横河はアウトサイドシュートが全く決まらなくなり逆に横浜ギガに速攻をされ点数が縮まっていく。終盤に77-74となり横河はたまたまT・O。T・O後は両チーム共疲れがピークとなり、そのためのパスミス、シュートも入らなくなりそのまま78-74で横河が勝利を収め3位を勝ち取った。